

Post-ICANN56 ポリシーフォー ラムレポート



ICANN|56 | ポリシー
ヘルシンキ | フォーラム

2016年6月27～30日

目次

03 ごあいさつ

コミュニティ間セッション

- 04 数字によるICANN56
- 05 次世代登録ディレクトリサービス
- 06 すべてのgTLDでのすべての権利保護メカニズムの見直し
- 07 オークション収益に関するCCWGの綱領
- 08 新gTLDの後続の手続き
- 09 将来のCCWGのための原則のフレームワークの草案作成
- 10 ワークロードの日程計画および管理
- 11 ICANN56総括/ICANN57計画

支持組織/諮問委員会(SO/AC)の更新

- 12 アドレス支持組織(ASO)
- 13 国コードドメイン名支持組織(CCNSO)
- 14 ジェネリックドメイン名支持組織(GNSO)
- 15 At-LargeとAt-Large諮問委員会(ALAC)
- 16 政府諮問委員会(GAC)
- 17 ルートサーバーシステム諮問委員会(RSSAC)
- 18 セキュリティと安定性に関する諮問委員会(SSAC)



成功を収めたICANN56ポリシーフォーラム



ICANN56ポリシーフォーラムにご出席いただきありがとうございます!この革新的なフォーマットが協力と実質的なポリシーおよび勧告策定作業を促進したことだと存じます。ICANNは、コミュニティ主導の会議戦略ワーキンググループの推奨事項に沿ってこのポリシーフォーラムフォーマットを引き続き評価し改善していきます。皆さんからのフィードバックは私たちにとって重要です。

このPost-ICANN56ポリシーフォーラムレポートには、コミュニティ間のセッションの概要、私たちの支持組織、および諮問委員会からの更新を含むその週のハイライトを取り込んでおります。このインフォグラフィックからお分かりのように、フォーラムは堅牢性の高いデータベース、討議、反対意見、妥協の忙しい4日間でした。

ICANNは、今年のマルチステークホルダー理念賞の受賞者であるChuck GomesとKeith Davidsonにお祝いと、謝意を述べます。この賞では、長年に渡る活発な参加とリーダーシップを通じたICANNのインターネットガバナンスのマルチステークホルダーモデルへの貢献を示すコミュニティのメンバーを表彰します。

何にもまして、私たちは、効率的で効果的なボトムアップの参加しマルチステークホルダーモデルへの関与を可能にすることにより、ICANNの基本的な合意によるポリシーと勧告の策定作業を支援することを目指しています。さらに、ICANN56ポリシーフォーラムへの皆さんの貢献に対し感謝を申し上げます。

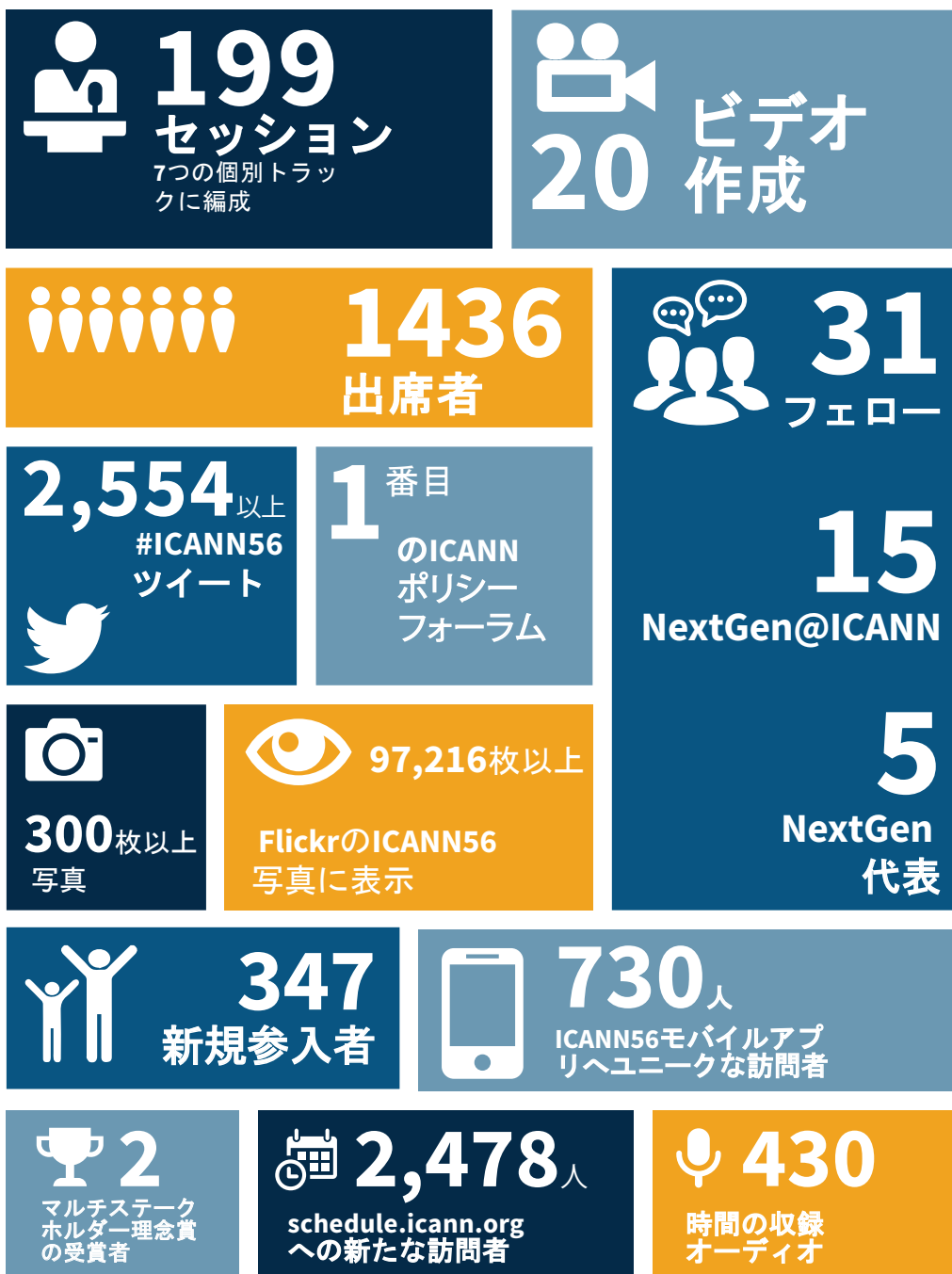
敬具

David Olive

ポリシー策定支援担当上級副社長

ICANNイスタンブール地域本部、統括マネージャ

数字によるICANN56



次世代登録ディレクトリサービス

ICANN56の内容

このコミュニティ間でのセッションは、次世代登録ディレクトリサービス(RDS)ポリシー策定プロセス(PDP)ワーキンググループの議長Chuck Gomesが主導し、副議長のDavid Cake、Susan KawaguchiおよびMichele NeylonとICANNのポリシー策定サポートスタッフメンバーのMarika KoningsとLisa Phiferがサポートしました。このセッションの間、ワーキンググループメンバーは、自身の経験をもとに事例を共有し、参加者は、WHOISの後を継ぐ次世代RDSがサポートすべきと考えている可能要件について、活発な議論を繰り広げました。このコミュニティ間でのセッション中に集められた意見は、このポリシー策定プロセスのワーキンググループの第1段階の推奨案を報告するための基本になります。次の日に開催されたPDPワーキンググループの会議でも、コミュニティ間でのセッション中に集められた意見にしっかりと目を通し、このトピックに関する議論が継続されました。

次のステップ

次に、ワーキンググループは、可能要件のリストが審議の基礎として十分完全であることを確認します。このリストには、コミュニティ間でのセッションでの提案が含まれています。次に、ワーキンググループは、タスク12までの作業計画通りに続けます。ワーキンググループは、可能要件をサポートするうえで、できる限り目標を達成するために、各可能要件を個別に系統的に検討します。これには言葉での表現方法が含まれます。相互依存性があるために、特に目的、データ、およびプライバシーに関する基本的な疑問に関して、ワーキンググループの審議が反復することになるでしょう。このプロセスの一環として、GNSOのステークホルダーグループと部会、およびICANNの支持組織と諮問委員会から寄せられた意見をワーキンググループが確認します。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。ワーキンググループの会議資料については、この[ページ](#)を参照してください。

すべてのgTLDでのすべての権利保護メカニズムの見直し

ICANN56の内容

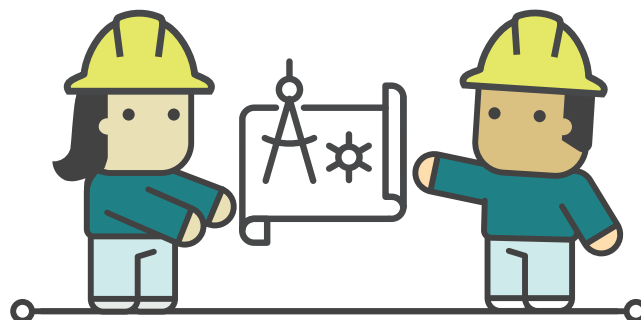
このコミュニティ間でのセッションでは、ポリシー策定プロセス(PDP)の範囲、特に、ワーキンググループが2012年のgTLDプログラムのために策定した権利保護メカニズム(RPM)を確認中の現在の(2つのうちの)第1段階に重点を置きました。ワーキンググループがコミュニティの意見を考慮して、PDPで対象となるトピックのリストに優先順位を付けるために、このトピックが選択されました。公開会議では、ワーキンググループがコミュニティ間でのセッション中に提供された意見について議論し、最初のRPM、すなわち委任後の商標紛争の解決手順(PDDRP)の分析を継続しました。共同した2つのセッションと、ワーキンググループ以外のメンバーの出席者、コミュニティの別の部分からの参加者が非常に役立つ討議を生み出しました。

次のステップ

ワーキンググループは、受け取ったフィードバックを使用してRPMの審議で対象とするトピックの非網羅的リストをまとめて、練り直します。ワーキンググループは、商標のPDDRPに関する作業の8月下旬までの完了を目指し、残りのRPMの審議を順に進めます。最終的に2017年の末までにその第1段階の作業に関する最初の報告が予定されています。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。ワーキンググループの会議資料については、[ページ](#)を参照して、その[協力ワークスペース](#)上のワーキンググループの進捗状況をフォローしてください。



オークション収益に関するCCWGの綱領

ICANN56の内容

コミュニティ間でのセッションでは、草案作成チームが、提案された草案を発表しました。このチームは、gTLDオークションの収益について新しいコミュニティ間でのワーキンググループの綱領を作成するために結成されました。有望なコミュニティ間のワーキンググループが、ICANN理事会が最終的に検討するために、新しいgTLDオークションの収益を割り当てる方法を提案し策定します。このプレゼンテーションの一環で、短い審議がありました。この審議では、このトピックの背景、現段階の討議の概要、綱領の草案作成の取り組みとその後コミュニティ間の審議の一貫として組み入れる必要がある法的な受託者制約事項の要約について、確認しました。次に、セッションでは、綱領の最新の草案に重点を置き、また、目標と対象、指針、範囲、メンバーシップ、参加者とオブザーバ、意思決定などの問題に重点を置きました。プレゼンテーションでは、活発な討議が繰り広げられ、また相当数のコメントがありました。草案作成チームはこれからの審議でこれらのコメントを検討します。

次のステップ

草案作成チームは、コミュニティ間でのセッション中に受け取った意見を審議し、適切であると判断した場合は、綱領をさらに更新します。草案作成チームが、コミュニティ間ワーキンググループのために提案された綱領の作業を終了した時点で、提案されたこの綱領は承認を得るために、すべてのICANN支持組織および諮問委員会に提出されます。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。

新gTLDの後続の手続き

ICANN56の内容

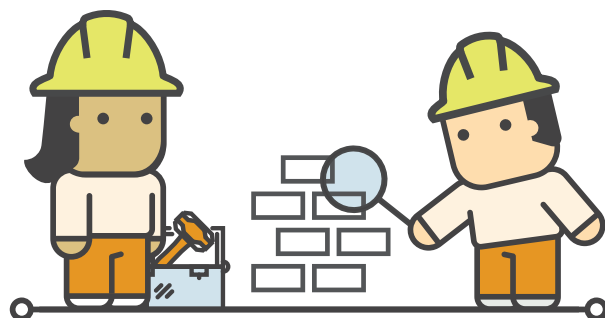
コミュニティ間でのセッションでは、コミュニティアプリケーション、地理的な名前、新しいgTLDプログラムのレビューなどの幅広い範囲のトピックにおいて、活発で、堅実な討議が行われました。受け取った意見は、実施中のさまざまな新しいgTLDに関連した取り組みごとに検討されます。会議では、ワーキンググループは、すでに検討されていた全般的ないくつかの問題において、準備的な成果に到達したという点で大幅に前進しました。なお、ワーキンググループの指導者は、政府諮問委員会との質疑応答セッションにも参加しました。

次のステップ

ワーキンググループは、引き続きコミュニティ内で実施中のさまざまな新しいgTLD関連の取り組みをモニタリングし、その手順や結果が推奨事項となる前に、審議中必ず適切に検討されるようにします。ICANN56の直後に、ワーキンググループは、文字列競合、申込みの提出、評価プロセス、コミュニティアプリケーション、異議申し立てなど、綱領で特定された多くの追加課題の検討を開始するための一連のサブチームの結成を見込んでいます。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。ワーキンググループの会議資料については、この[ページ](#)とこの[ページ](#)を参照して、その[協カワークスペース](#)上でワーキンググループの進捗をフォローしてください。



将来のCCWGのための原則のフレームワークの草案作成

ICANN56の内容

ccNSOおよびGNSO評議会が将来のCCWGのための統一原則のフレームワークを策定するために公認したコミュニティ間ワーキンググループ(CCWG)が、公開対話セッションを開催し、初回報告に寄せられたパブリックコメントに基づき指定した主な懸念事項のトピックを討議しました。以下が主なトピックです。(1)CCWG内の代表の多様性を確認する方法;(2)例外的な予算とその他のリソースの配分問題の取り扱い;(3)コンセンサスの定義、および(4)推奨事項の実行におけるCCWGの役割。多くの参加者が、これらのトピックそれぞれについて意見を述べ、CCWGは相当量の優れた本質的なフィードバックを受けました。

次のステップ

CCWGは、ICANN56の後で最終的なフレームワークをまとめます。コミュニティのコメントを審議し、必要に応じて、現在の草稿にそのコメントを組み込んだり、草稿を修正したりします。CCWGは、ICANN57の前までに、作業を完了して、最終フレームワークを認可組織に提出して承認を求めることを予定しています。最終フレームワークは、おそらく新しいgTLDオークションの収益についての次のCCWGの開始のための指針として機能する可能性があります。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間セッションのプレゼンテーションを確認する、トランスクリプトを読む、または録音を聞き、[協カワークスペース](#)上でワーキンググループの進捗をフォローしてください。

ワークロードの日程計画および管理

ICANN56の内容

このコミュニティ間でのセッションの目標は、ICANNの活動を、より適切で、時宜にかなった効率的なものにするために、意見とアイデアを収集することでした。これは、トピックに優先順位を付け、最適な方法で利用可能なメカニズムを利用し、潜在的に役に立つ新しい考えを見つけて、達成される可能性があります。あらゆる背景を持つコミュニティメンバーが、ICANNで継続中の作業のアクセス性と管理を向上させるために自分たちの経験を共有し、アイデアを提供しながら参加しました。

このセッションは、政府諮問委員会の議長Thomas Schneiderが司会者として主導しました。この司会者は、支持組織と諮問委員会内およびその枠を超えた、潜在的なアプローチに関する紹介を発表しました。これには、改善した計画作成、優先順位の設定、情報とプロセスへのアクセス、ICANN全体に渡る、全体としてのおよびさまざまな団体内での手法、タイミングとの協調と持続可能性、ならびに追加のサポートとツールの潜在的な必要性が含まれます。それぞれの側面に関して、司会者がフロアを解放し、参加者は将来ICANNの仕事をより効率的にするために事例、問題分析、建設的な提案を提供しました。

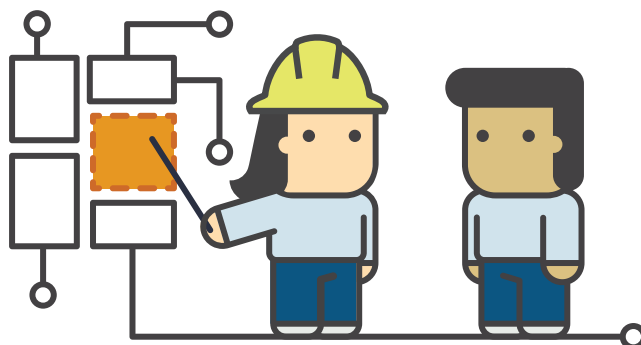
参加者は、ICANNのWebサイトの検索機能を改善できると述べ、また、一体感を促進するために良好な遠隔参加ツールがますます重要になってくると述べました。最近のコミュニティ間の活動により、支持組織と諮問委員会間に信頼を構築することの重要性が証明されました。参加者が多ければ多いほどワークロードの共有に役立ちますが、参加からボランティアへの待機期間を認めることも重要です。

次のステップ

双方向セッションにより、目的を持った多くの提案が状況を改善するための具体的な推奨事項の検討を開始できるようになりました。このセッションでの仮結論を、ICANNコミュニティ全体でさらに検討を行い、将来討議するために要約されます。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。



ICANN56総括/ICANN57計画

ICANN56の内容

このセッションの間に、ICANNポリシー策定支援および会議チームのスタッフが、コミュニティの参加者との討議を主導してICANN56ポリシーフォーラムに関するフィードバックを共有しました。参加者は、この週の間、何がうまくいって、何かうまくいかなかったかを検証し、コミュニティの経験のあらゆる側面について検証しました。セッションの参加者は、室内のマイクとICANN56のモバイルアプリを使用した特別ライブ投票を通じた聴衆の参加を活用して、スケジュールフォーマット、ポリシーに重点を置いた作業に使用できる時間、コミュニティ間のセッションフォーマット、ICANN理事会との交流、およびアウトリーチ、エンゲージメント、ネットワークの機会を調査しました。

次のステップ

ICANのスタッフが、コミュニティ間セッションの間に受領したすべての意見、またその週にICANN56のモバイルアプリで受け取ったアンケートの回答からのすべての意見を収集し、照合し、監督します。このフィードバックは、ICANNコミュニティウィキで公開され、コミュニティがさらに貢献するチャンスを提供します。この情報は、将来のすべての会議の計画に組み込まれます。

セッション資料

[こちら](#)でこのコミュニティ間でのセッションのプレゼンテーションを参照する、トランスクリプトを読む、または録音を聞いてください。

アドレス支持組織(ASO)

ICANN56の内容

IANA監督権限移管の提案の実施の一環として、5つの地域インターネットレジストリとICANNが、IANAナンバリングサービスに関するサービスレベル契約に署名しました。この契約では、ICANNによるIANAナンバリングサービスの提供の取り決めが文書化されています。SLAは移管を伴う場合のみ効力を生じ、移管時点の前にはいかなる場合も効力を生じません。[こちら](#)で契約書を参照してください。

またASOは、5つの地域に渡る[公開セッション](#)レビューポリシーの策定も実施し、ASOアドレス評議会は、ICANN56中に年次総会を開催しました。ASOアドレス評議会の次の年次総会はICANN58で開催されます。

今後の予定

現在とICANN57の間に、以下の会議が地域インターネットレジストリで開催されます。

[LACNIC 26](#) | 2016年9月26～29日 | コスタリカ、サンホセ

[APNIC 42](#) | 2016年9月29日～10月6日 | バングラディッシュ、ダッカ

[ARIN 38](#) | 2016年10月20日～21日 | 米国、ダラス、テキサス

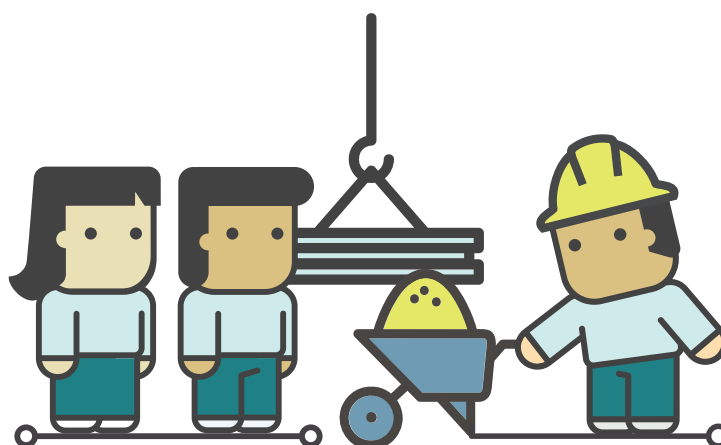
[RIPE 73](#) | 2016年10月24日～28日 | スペイン、マドリード

参加のお願い

インターネット番号リソースポリシー策定の討議に貢献するために、以下の地域インターネットレジストリのメーリングリストとワーキンググループに参加してください。

- [AFRINIC](#)
- [APNIC](#)
- [ARIN](#)
- [LACNIC](#)
- [RIPE](#)

ASOアドレス評議会は、インターネットナンバリングコミュニティのためのグローバルポリシー策定プロセスを監督し管理します。現在のところ、グローバルなポリシーの提案はありません。



国コードドメイン名支持組織(CCNSO)

ICANN56の内容

ccNSOがccTLDの廃棄についてのポリシー策定プロセスとccTLDの委任、失効および廃棄に関する決定の審査メカニズムの策定の第1段階を開始しました。この作業は、予測される課題レポートと共にICANN57まで継続します。

ccNSOは、政府諮問委員会とのジョイント会議を通じてICANN56でのコミュニティ間の作業に積極的に参加し、国およびその他の地理的名前と運用計画に関するコミュニティ間のセッションを主導しました。ccNSOは、また、運用に関するトピックについてのワークショップを含む、より幅広いコミュニティ向けのTech Dayと業界のベストプラクティスを対象とするccTLDコミュニティ向けのメンバーミーティングデーも主催しました。

また、.dk ccTLDマネージャの[ccNSOが承認したアプリケーション](#)が、Dansk Internet Forum (DIFO)をその160番目のメンバーとして迎えています。ccNSO評議会は、寛大なもてなしを通じてカクテルレセプションが成功したこととフィンランド通信規制当局、.fi ccTLDマネージャのサポートに対してJuhani Juseliusに感謝の意を表しました。最終的にccNSO評議会は、ccNSOのKeith Davidson前副議長がそのリーダーシップと仕事を認められて、ICANNマルチステークホルダー理念賞を受賞したことに対して心からの祝いを述べました。

今後の予定

ICANN57では、ccTLDの廃棄とccTLDの委任、失効、廃棄についての決定の審査メカニズムの策定に関する課題レポートが提示されて、討議されます。このレポートでは以下のトピックが取り扱われています。

- ccNSOがccNSOポリシー策定プロセス(ccPDP)を開始するべきか否か。
- ccPDPが最初に審査メカニズムに関するポリシーの策定を開始して、廃棄についての決定を後のステージに先送りするべきか否か、もしそうならば、その決定はいつなされるべきか。および、
- タスクフォースを招集するべきか否か、別の方法を使用してこれらの問題に対処するべきかどうか。

また、このレポートには、ccPDPの各ステージで実施するために提案されたタイムラインも記載されます。

また、ccNSOは、IANA監督権限移管の一環としてのステップを実行するための準備において顧客常設委員会のメンバーの選択プロセスも進めます。さらに、ccNSOは、[最新アンケート調査](#)の分析を含む説明責任と透明性を引き続き向上させます。

参加のお願い

ccNSOのメンバーシップは、ISO 3166国コードトップレベルドメインの管理を担当するすべてのccTLDマネージャに対して開かれています。参加方法の詳細については、[ページ](#)をご参照ください。グローバルな取り組みを促進するため、メンバーと非メンバーの両方のすべてのccTLDが、直接的にまたは遠隔参加ツールを使用して、ワーキンググループに参加し、会議に出席しています。詳細については、[ccNSO Webサイト](#)を参照してください。

ジェネリックドメイン名支持組織(GNSO)

ICANN56の内容

GNSOが積極的にICANN56ポリシーフォーラムに参加しました。この会議の目的は、ポリシー策定活動に重点を置き、コミュニティ間のセッションを通じてGNSOと他のSOおよびACの間の相互交流を促進することでした。

コミュニティ間のセッションでは、以下の3つの継続中のポリシー策定プロセスへの幅広い意見の機会が提供されました。新gTLDの後続の手続き、次世代登録ディレクトリサービス、および全gTLDにおける全権利保護メカニズムの審査。コミュニティ間のセッションは、重要な問題に関する実質的な審議が継続中のこれらのグループの作業会議への重要な先駆けでした。

GNSOは、GACとICANNの理事会のメンバーとの重要な二者間会議も開催し、GAC-GNSO協議グループのステータス、プライバシーおよびプロキシサービス認定問題および未解決のIGO/赤十字社推奨事項などのトピックについての見解を交換できました。

公開会議の間に、GNSO評議会は、移管後のICANNの内規に基づいた新しい、追加のGNSOの権限と義務の実行計画を策定する草案作成チームを設立するという措置を取りました。GNSO評議会は、GNSO PDPの改善とGNSOリエゾンのGACへの拡張された委任についての最終ステータスの更新も採用しました。さらに、GNSO評議会は以下について討議しました。

- 国際化登録データについての専門家ワーキンググループ最終レポートに関するICANN理事会からの課題提起
- GNSOから顧客常設委員会への主代表者と代替代表者の選択のステータス
- インターネットガバナンスに関するコミュニティ間ワーキンググループからの進捗更新
- GNSOの審議に関する次のステップと、実行計画の策定の任務を負うのは特にどのメカニズムか。
- WHOISと国内法の手順との対立の審議に関する諮問グループの実行の最終レポートに関する次のステップ

今後の予定

今後数週間に渡りGNSOポリシー策定ワーキンググループは、会議の通常のスケジュールを再開します。草案作成チームは、ICANNの新しい内規に基づくGNSOの権限と義務を検証する作業の主要な領域を引き受けます。この草案作成チームは、2016年9月末までに、GNSO評議会に対して計画を実行することを求められています。

なお、ICANN57の計画は、すぐに進行します。GNSO評議会の選挙と年次総会活動などの重要なマイルストーンはすでに予定済みです。GNSO評議会はサポートスタッフと共に、どのポリシー、アウトリーチ、コミュニティ間のセッションを開催するかを確認します。

参加のお願い

継続中のGNSOポリシー策定プロセスの詳細については、[GNSO Policy Briefing \(GNSOポリシーの状況説明\)](#)をお読みいただくか、[GNSO Council Action Item List \(GNSO評議会の措置項目リスト\)](#)をトラックしてください。また[Chuck Gomes discuss WHOIS \(Chuck Gomes、WHOISを討議する\)](#)または[Kathy Kleiman on the importance of Rights Protection Mechanisms \(Kathy Kleiman、権利保護メカニズムの重要性について\)](#)もご覧ください。

At-LargeとAt-Large諮問委員会(ALAC)

ICANN56の内容

ALACは、At-Largeコミュニティの組織の効率性にとって重要なプロセス関連の事項に重点を置きました。これらには、[revised ALAC Rules of Procedure \(改訂済み手順のALAC規則\)](#)の批准、[ALAC Appointee Selection Committee \(ALAC被指名者選出委員会\)](#)の確立、[selection process of the ALAC Liaison to the Consumer Standing Committee \(CSC\) \(消費者常設委員会 \(CSC\) へのALACリエゾンの選択プロセス\)](#)についての決定が含まれていました。

[At-Largeレビュー](#)にも重点を置きました。独立した調査官がコミュニティと会い、多くのセッションを見学して、ICANN56の期間中ずっと定性インタビューを行いました。

Regional At-Large Organization (地域別At-Large組織)のフロントで、[EURALO General Assembly \(EURALO総会\)](#)と[Joint AFRALO-AfrICANN Meeting \(ジョイントAFRALO-AfrICANN会議\)](#)が開催されました。RALOのリーダーは、会見を行い、文書作成パイロットプログラムの実行に重点を置く小規模なタスクフォースを任命することにも合意しました。

アウトリーチとエンゲージメントの取り組みを継続するために、At-Largeのリーダーは[NextGenの学生とICANNのフェロー](#)と会見し、At-Largeコミュニティへの理解を深めてもらいました。

今後の予定

2016年7月22日の締め切りに間に合わせるために、ALACリエゾンのCSCへの選択プロセスが7月初旬に始まります。

At-Large審査では以下を継続します。独立監査法人ITEMSがよりグローバルな幅広いAt-Largeコミュニティに世界的調査を配付し、At-Largeメンバーとその他のステークホルダーに定性的なインタビューを行いました。より多くの参加を促すため、TEMSは各RALOが開催するウェビナーにおいてもプレゼンテーションを行います。

ポストセカンドAt-Largeサミット活動(ATLAS II)は終了します。ATLAS II実施タスクフォースは、実行レポートを見直して仕上げ、批准を得るためにそれをALACに転送します。批准されたレポートはICANN理事会に提出され、ATLAS IIの最終成果物としてICANN57で発表されます。

[APRALO](#)と[NARALO](#)が次回の総会のために計画されています。さらに、At-Large組織のWebベースの、集中型のデータベースが、十分に開発され、RALOリーダーとAt-Large組織の代表者により検証されて、アプリケーション、連絡先、通信情報が統合して保存されます。

参加のお願い

At-Largeコミュニティのオフィシャルメンバーになるには、[3つの方法](#)があります。メンバーはワーキンググループに参加し、エンドユーザーに関する問題についての知識を得て、ポリシーアドバイスの策定に影響を及ぼし、ICANNでのアクセシビリティと組み入れを促進します。

政府諮問委員会(GAC)

ICANN56の内容

ICANN56で、GACは24の全員出席のセッションと8つのワーキンググループセッションを開催しました。GACの全員出席セッションはすべて公開会議として実施されました。GACセッションは、現在のGNSOポリシー策定プロセス、IANA監督権限移管に関する次のステップ、内部の問題への意見およびICANN理事会への勧告に重点を置きました。内部の問題には、公共の安全、人権、国際法に関するGACワーキンググループからの更新と、地理的名前が含まれます。GACは運用原則も見直しました。

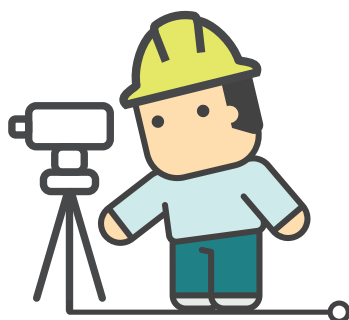
GACワーキンググループは毎日GAC全員出席セッションが始まる前に会っていました。全員出席セッションは、ICANN政府とIGOエンゲージメントチームからのプレゼンテーションがあるGAC能力強化セッションなどの一般的なトピックとIGOの頭字語の保護のようなより詳細な問題を対象としました。最終のGACセッションは、ICANN理事会へのGACアドバイスなどの従来からの[GACの声明](#)の発表で終了しました。

コミュニティのエンゲージメントが二者間とコミュニティ間の両方のレベルで開催されました。GACはccNSO、GNSOおよびSSACと会い、ワークロード管理およびスケジュール作成についてのコミュニティ間のセッションで指導的役割を演じ、一方で他のコミュニティ間のセッションに参加しました。

ICANN56では、GACが6つの新しい政府を迎え入れました。これにより、GACメンバーシップの合計がメンバーとして168か国の政府と個別の経済圏となり、オブザーバとして35の政府間組織、IGOとなりました。

背景

GACは、ドメイン名システムに関するICANNの責任の公的ポリシーの側面についてアドバイスを提供します。GACは意思決定機関ではありません。その範囲内にある問題についてICANNに勧告をします。GACの勧告には、ICANNの内規に基づく特別なステータスがあります。その勧告は、ICANN理事会が十分に考慮する必要があり、ICANNの理事会がGACの勧告と矛盾する活動を提案する場合は、その提案の理由を示して、お互いに受け入れ可能な解決策に到達するように努める必要があります。



ルートサーバーシステム諮問委員会(RSSAC)

ICANN56の内容

ICANN56の間にRSSACは8つのワーキングセッション、1つの公開セッション、1つ公式会議を開催しました。ワークセッションは、ワークショップ2の作業の仕上げに重点を置きました。[公開セッション](#)では、RSSAC002のバージョン3の概要を含む現在のRSSACとCaucusの作業を更新しました。ルートサーバーシステムの測定。その公式会議の間に、RSSACは運用手続きのバージョン2、ルートゾーン発展審議委員会の草案綱領に関する[公開コメント提出](#)およびルートDNSデータのクライアントサイドの信頼性についての声明を承認しました。

今後の予定

2016年10月のワークショップ3の準備で、次の週に、RSSACは引き続きその[ワークショップ2レポート](#)の結果を進めます。CaucusはIETF 96で開催されて、個々のルートサーバーに使用されるネーミングスキームの継続中の技術分析などの作業を討議します。RSSACはまた、ルートサーバーシステムの履歴を文書化しているレポートもすぐに確認します。

参加のお願い

RSSACはDNSとルートサーバーシステムの専門家を招待して、RSSAC Caucusメンバーシップ委員会に志望動機書を提出します。Caucusでは、申請を見直し、メンバーシップに関して評価します。CaucusはRSSACの不可欠の作業を実行します。74名のメンバー（そのうちの47%がルートサーバーオペレーターのために働いています）がおり、RSSAC作業に貢献している技術的な専門知識の基礎の幅を広げています。参加方法の詳細については、[Caucus Webページ](#)を参照してください。

セキュリティと安定性に関する諮問委員会(SSAC)

ICANN56の内容

SSACはインターネットソサエティの展開360プログラムと連携して、6月27日月曜日のDNSセキュリティ拡張(DNSSEC)でワークショップを開催しました。このセッションは、公開プレゼンテーションであり、DNSSECの展開に積極的に関わる者との討議でした。

DNSSECワークショップで対象となるトピックには以下が含まれます。

- 現在のDNSSC展開を描いているマップ。
- DNSSEC導入とトレンドに関するプレゼンテーション。
- 展開の課題に関するパネルディスカッション、および
- キー署名のキーのロールオーバー、ゾーン署名のキーの長さ、DNSSEC暗号化アルゴリズムに関する技術的なプレゼンテーション。

今後の予定

DNSSECワークショップは、数年間に渡りICANN会議の一部であり、経験豊かな人と新人の両方を会わせて、現在と未来のDNSSECの展開を発表しこれについて討議するフォーラムを提供してきました。DNSSECワークショッププログラム委員会は、すぐにICANN57で開催されるDNSSECワークショップの計画作成に取り掛かります。

参加のお願い

ICANN56のDNSSECワークショップには、Deploy360プログラムとその他の展開活動へのリンクでの参加方法についての[プレゼンテーション](#)が含まれていました。さらに、ICANN57でのDNSSECワークショップの計画作成の第1ステップとして、DNSSECワークショッププログラム委員会は、DNSSEC展開コミュニティに参加の募集を配付します。コミュニティのメンバーは、参加の募集に記載のトピックエリアにある提案書をお送りください。

